

## 文部科学省 住民一時帰宅に係るスクリーニング

派遣先：福島県福島市（福島県庁）（住民一時立入り中継所）

派遣期間：平成23年8月7日（日）～8月11日（木）

派遣者：放射線部 放射線技師長 今井 方丈

企画調整室長 黒瀬 一清

平成23年8月7日から8月11日までの間、文部科学省等による住民の一時立入りに伴うスクリーニングスタッフとして、放射線技師長 今井方丈、企画調整室長 黒瀬一清の2名で参加しました。

福島県庁からスクリーニング会場である広野中央体育館に移動し、大熊町、富岡町への一時帰宅に係る支援を行いました。

我々の業務は、警戒区域へ一時帰宅される住民に対し、医療班としての健康チェック、警戒区域から帰還された住民、荷物のスクリーニング、ポケット線量計に示された放射線量の説明を行うことでした。

### 【1日目】

朝8時に福島県庁前に集合、本日作業を行う中継地点である広野中央体育館へバスで移動、約2時間かけて現地入りし、簡単な事前打ち合わせを行いました。受付が始まると医療班として一時帰宅者に配布された問診票のチェック（記入漏れがないか等）及び回収を行いました。その後、一時立入りに係る住民への注意事項等の説明が行われ、タイベックスーツに着替えた後、専用バスで富岡町へ出発されました。（約300名）

午後からは、住民の帰還に備えてサーベイメータの準備、スクリーニング打ち合わせ、リハーサルを行いました。午後2時、住民が帰還し、スクリーニングが開始されました。国立大学法人等の派遣者は、測定チームと測定シートへの記入を担当しました。

この日の一時立入りにより住民の方が受けた放射線量は最大で10マイクロシーベルトでした。

### 【2日目】

昨日と同様、6時半に福島県庁に集合、広野中央体育館へバスで移動しました。本日は一時帰宅の区域が大熊町と富岡町の2か所ということもあり、住民への説明も2回に分けて行われました。

住民の帰還後、スクリーニングを行いました。ポケット線量計による最大放射線量は大熊町が87マイクロシーベルト、富岡町が5マイクロシーベルトを示し、区域による違いを感じました。

### 【3日目】

本日も8時に福島県庁に集合、広野中央体育館へバスで移動しました。

本日は、気温が35度を超え、3日間で最も暑い1日となり、スクリーニングを行うスタッフからも数名が熱中症を訴え、手当を受けていました。この日のポケット線量計による最大放射線量は11マイクロシーベルトでした。(富岡町)

我々の派遣期間は3日間と短いものでしたが、これからも住民の一時立入りに係るスクリーニングは継続して行われると聞いております。住民の方はもちろん、作業を行うスタッフの方々にも、体調には十分注意して頂きたいと思います。



**広野中央体育館**

・住民の一時帰宅に係る中継基地



**広野中央体育館**

・スクリーニング会場(測定エリア)



**広野中央体育館**

・自衛隊除染テント



**広野中央体育館**

・住民の受付、問診票の配布



**広野中央体育館**

・問診票をチェックする医療班(DMAT等)



**広野中央体育館**

・一時帰宅に係る住民への説明・事前準備の様子



**広野中央体育館**

・体育館前で出発(住民)を待つ専用バス



**広野中央体育館**

・警戒区域への出発の様子



**広野中央体育館**

・スクリーニング会場(測定エリア)



**広野中央体育館**

・スクリーニング会場(測定エリア)  
・空いているレーンに順次誘導



**広野中央体育館**

・スクリーニング打ち合わせ(リハーサル)



**広野中央体育館**

・スクリーニング打ち合わせ(リハーサル)